Awara News

あわらニュース vol.55

平成27年7月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、公立的で自立した病院経営を推進します。

「看護の日」記念行事　健康応援フェアを開催して

看護師長　堀野千津子

5月20日「セントピアあわら」にて「看護の日」のイベントを開催し、53名の方が来訪してくださいました。健康チェックでは身長・体重・血圧・体脂肪・骨密度測定を行い、「今朝、家で測った血圧よりもいい値になっている」と笑顔で話されたり、「毎年来ているよ」と、嬉しい声掛けも頂きました。医療相談後、「病院でもっと詳しく調べてもらいたい」とのご希望や、「体重を減らすのはとても難しい」との生活習慣の相談には、管理栄養士からの身近に改善できる提案など、とても熱心に聞かれていました。内科医師による講演では、誰もが願う「健康長寿」へのアドバイスにどの方も頷かれ、その関心の高さが伺われました。「看護の日」は、フローレンス・ナイチンゲール生誕日にちなみ制定され、「看護の心をみんなの心に」との思いが込められています。今後も、住み慣れた場所でいつまでもその方らしく過ごして頂けるよう、地域に寄り添える病院であり続けたいと思います。

より質の高い医療に向けて ～慢性呼吸器疾患看護認定看護師～

看護部長
濵田 智子

一足早い夏の日差しを感じる中、あわら病院の周辺にもあじさいの花が咲き誇る季節となりました。今年度も、あわら病院では、在宅療養支援のより充実を図り、重症心身障がい児(者)医療、難病医療、長寿医療を柱とした専門医療の提供に努めるため、医療チームが一丸となって取り組んでおります。その中で、あわら病院の専門医療における大きな役割を期待されている、慢性呼吸器疾患看護認定看護師が、昨年度新たに誕生いたしましたので紹介いたします。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、安定期、憎悪期、終末期における慢性呼吸器疾患の患者さんとそのご家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践する看護師です。慢性呼吸器疾患の患者さんの病態を理解し、呼吸管理とケアを実施する中で、各病期において起こりうる心理的、社会的及びスピリチュアルな問題を理解し、問題解決のための援助を行います。また、病態・症状に応じた呼吸リハビリテーションや、患者さんとそのご家族が病状に応じた自己管理ができるよう、療養生活継続のための効果的な指導を行います。常に患者さん・ご家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践する役割を担っています。当院は、肺炎、間質性肺炎、COPD等の呼吸器疾患をもつ高齢者の患者さんや、重症心身障がい、神経難病等の呼吸器障害で、病院や在宅療養をされておられる患者さんに医療を提供しております。以前より、緩和ケア認定看護師、高齢者看護院内認定看護師が病棟・外来看護師とともに、医療・生活の両面から他職種と連携して、チームアプローチを行ってきました。慢性呼吸器疾患看護認定看護師がそのチームに加わることにより、呼吸管理や栄養管理はもとより、社会活動への支援にいたる看護の専門性がより高まることと期待しております。

これからも、あわら病院は「多くの人の笑顔のために」多職種が連携し、より質の高い医療の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師
竹澤 美帆

地域包括ケア病床について

医事専門職　萩原 理史

平成26年度の診療報酬改定において、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実、医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図るため、様々な改定がなされました。その一つとして、亜急性期入院医療管理料が廃止され、新たに地域包括ケア病棟入院料が設けられました。

そこで、当院においても、在宅医療、及び地域の医療・介護施設等との連携をより一層強化することもあり、地域包括ケア入院医療管理料の施設基準を取得しました。現在、5階病棟において10床の地域包括ケア病床を運用しております。地域包括ケア病床は、急性期治療を経過した患者さんの在宅復帰支援等を行う機能を有しており、地域包括ケアシステムを支える役割を担っております。

また、平成26年度診療報酬改定により、7対1の入院基本料を算定する病棟については、自宅等への在宅復帰率が75%以上であるという条件が追加されましたが、地域包括ケア病棟(病床)への転院については、自宅等に含まれることになっていることから、地域包括ケア病床は急性期病院と介護老人福祉施設等を含む自宅等を繋ぐ役割を担うことも期待されるところであります。

当院においては、地域包括ケア病床を運営するにあたり、地域の医療・介護施設の皆様方と今後もより一層の連携に努めていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いします。

地域医療連携施設のご紹介

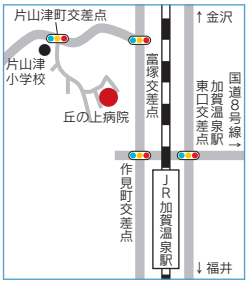
あわら病院と連携している医療機関等をご紹介いたします

医療法人社団 修和会 片山津温泉・丘の上病院

医療法人社団 修和会
片山津温泉・丘の上病院
〒922-0421 石川県加賀市冨塚町中尾1-3
TEL.0761-74-5575 FAX.0761-74-6382
〈併設事業所〉
重度認知症デイケア 丘の上デイケアセンター
介護老人保健施設 葵の園・丘の上
葵の園・丘の上デイケア／グループホーム葵の園・じざい
丘の上居宅介護支援事業所／丘の上訪問介護事業所

当院は、もの忘れの専門病院として石川県加賀市に位置し、認知症の早期診断及び治療に携わり、今年で創立28年になります。今年度は、『利用者様とともに～思いやりとチームワークを大切にして～』という病院目標を掲げ、多職種がチームとなり、認知症ケアに取り組んでおります。

あわら病院までは、車で20～30分程の距離にあります。ここ数年は、当院より担当の精神保健指定医が出向き、対診（往診）という形であわら病院入院中の認知症の方等の診療にもあたっております。最近では、あわら市や坂井市在住のご家族の方から認知症のご相談をいただくようになり、時には自宅へ往診に出向く機会もございます。これからも近隣地域の皆様に信頼され、選ばれる病院になれるよう職員一同一丸となって努力して参りたいと思いますので、皆様の変わらぬご指導を賜りたくお願い申し上げます。



診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	備　考
精神科・神経科	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	休診日 日・祝
	13:00～17:00	○	○	○	○	○	×	
往診：ご相談に応じます								

循環器疾患への対策 －「2025年問題」を見据えた取り組み－

副院長
見附 保彦

いわゆる「団塊の世代」が2025年に75歳以上の後期高齢者となり、医療経済の負担が大幅に増加する問題は「2025年問題」と表され、近日医療記事だけでなく、一般のテレビやマスコミで目にすることも珍しくなくなりました。

そんな超高齢社会に突入した日本が抱えている問題の1つに「介護・寝たきり」があります。健康寿命を縮め要介護状態となる主な原因は、脳卒中をはじめとする循環器疾患、関節疾患、および転倒であることが指摘されており、さらに、脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患は、がんと並んで日本人の主要死因の一角を占めていることも疑いの余地はありません。この現状から、循環器疾患を予防することの重要性をひしひしと感じています。

医師法第1条には「医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」と記載されています。いわゆる「予防医学」と同等と解釈するのは無理があるのかもしれませんが、健康寿命を延長するには、発症してから発見・治療することだけでなく、さらに発症を予測・予防していく医療も大切にすることが重要であるという思いは皆様も同様ではないでしょうか。

よって健康寿命を延ばすためには、循環器疾患の予防および早期発見と治療の継続が重要であると考えています。肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症などのいわゆる古典的な動脈硬化危険因子リスク評価がまず第一と考えます。加えて、諸検査を活用し、ハイリスクな治療群を効率的に抽出することを心がけています。当院ではABI測定、頸動脈エコー、ホルター心電図、心臓エコー検査等が有用と考え、力を入れています。

検査を活用することでより正確なリスクが評価でき、無症状のうちから血管障害の早期発見が可能となり早期治療につなげることができるのでは、と日常診療において目の前の疾患の治療に目が行きがちな点を反省している今日この頃です。

外来担当医表

（平成27年7月1日現在）

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	津谷	鈴木	見附	（交替制）	向井
	小児科	大坂＊	川満＊	大坂＊	大坂＊	川満＊
専門	血液・リウマチ			津谷／浦崎＊	津谷	
	痛風				津谷＊	
	生活習慣病			鈴木（第1・3）	西坊（第2・4）	
	老年			桐場（第2・4・5）		粟田
	神経			林（第1・3・5）		
	循環器	見附	見附			
	外科	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤
	整形外科	青木				
	眼科				吉岡＊	
	皮膚科		若原			若原
	地域ケア					桐場
	禁煙外来	見附	見附			

● 受付時間8:30～11:30　● 黄色枠は予約制　● ＊印は午後診察　● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中（9:00～11:00）です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日（8:30～11:30）です。　※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

※禁煙外来の診察は、月曜日（8:30～11:30）・火曜日（10:00～12:30）です。

栄養管理室便り

栄養管理室　主任栄養士　**内川 厳志**

栄養管理室では、定期的に院内スタッフに向けて、「NST勉強会」を開催しております。

「NST」とは、「Nutrition Support Team(栄養サポートチーム)」の略語で、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・管理栄養士など様々な職種が協力して、低栄養などの栄養介入が必要な患者さんに適切な栄養サポートを行うチームの事をいいます。

これまでに「胃ろうの管理方法」「輸液の種類」「栄養補助食品の試食・試飲」など様々なテーマを扱い、各スタッフが日常業務に役立てています。

これからも常に新しいテーマを探索し、あわら病院一丸となって患者さんの栄養サポートに努めてまいります。

NST勉強会の様子

独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1　TEL.0776-79-1211（代表）FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線（785）FAX.0776-79-1261

URL http://www.awara-hosp.jp/

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【 教 育 】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より（5km）

①京福バス（北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車）

②乗合タクシー（デマンド交通）［事前予約が必要］

JR北陸本線芦原温泉駅より（10km）

①京福バス（あわら湯の町駅で乗換）

②乗合タクシー（デマンド交通）［事前予約が必要］

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、またはホームページ（交通案内）をご覧ください。